

## 特別賞

### 森で過ごした三日間

赤羽小学校 小原 里菜

手のひらにのる、小鳥の顔をした小物。世界に一つしかない私の手作り、箱根の思い出の品です。手触りが良く、じっと見つめるとふんわりとしたぬくもりが伝わります。直径四センチメートルの円い平らな木に、小枝で作った口ばし、種の鼻、木の実の頭、丸い両目。可愛い顔を見ると、楽しい思い出がよみがえってきました。

八月、私は学校の夏季学園で箱根へ行きました。親元を離れ、箱根ニコニコ学園という施設で過ごす二泊三日。登山、キャンプファイヤー、木の小物作りなどをして森や木に親しみました。その中で、一番印象に残っていることは登山です。

二日目の朝食後、金時山へ登りました。土をふみしめながら山道を歩くと、木や花がよく見えます。一本の木はしっかりと立ち、天に向かい伸びていきます。ふらふらとせず、上へ上へと成長する姿に、たくましい力強さを感じました。下を向いている木はありません。山頂では、広大な景色が広がります。透き通るような水色の空、白い雲、一面の緑、山のおもとに小さく見える家。私は両手を広げ、登山の達

成感と美しい景色で、幸せな気分になりました。頂上でのお弁当はとても美味しく、ほったが落ちそうでした。思い出すと、頭に風景が浮かび、胸があたたくくなります。

森の中で過ごした三日間で、私は、普段接することのない数多くの緑、木々と触れ合いました。森の中、自然の中に、どっぷりとつかった心地良さは、忘れることが出来ません。山頂で見た美しい景色、山で味わう食事、木で作った小物、どれも何度も体験したいものばかりです。私達だけではなく、私より小さな子ども達も、私より大きな大人も体験し、自然の良さ、素晴らしさを味わってほしいです。

自然に親しみ、幸せだと感じた気持ち、いつまでも体験するためには、今、目の前にある自然を守り、大切にしなければならぬと思います。そのために、私が出ることとは何でしょうか。広い公園を造る、森に木を植えるといった、大がかりなことは無理でも、普段の日常生活の中で、取り組めることがあると気付きました。自然、環境に優しい生活をする事です。電気をこまめに消し、つけたままにしない。水を少しずつ使う。ゴミを分別するなど、すぐに出来ることがあります。これから先の未来に、美しい自然を残したいです。

私の取り組みは、誰にでもすぐ出来る簡単なことです。無理をせず、長い期間続けていくことで、必ず効果があるでしょう。今の私達、未来の私達のために、環境に優しい生活を続けたいです。私が年を重ねて、おばあちゃんになった時にも、今と同じ自然が残っていますように。